
4月25日からの緊急事態宣言： 「強い規制を短期間」が何故良いか

2021年4月24日

藤井大輔(東京大学)
仲田泰祐(東京大学)

「次の緊急事態宣言の指針」(4月6日)との違い

■ 4月6日の分析

- https://covid19outputjapan.github.io/JP/files/FujiiNakata_Slides_20210406.pdf
- 次の緊急事態宣言は5月末に発令
- 東京での変異株割合9割超えは6月末
- 東京での分析のみ

■ 今回の分析

- 次の緊急事態宣言は4月25日に発令
- 東京での変異株割合9割超えは5月末
- 東京と大阪を分析



要旨

分析

- 東京・大阪における「次の緊急事態宣言のあるべき形」を分析
- 具体的には、次の宣言下での「規制の強さ」が感染者数・死亡者数・経済損失に与える影響を分析
 - 「規制が強い」＝経済活動が大幅に低下・感染が急速に減少・宣言期間が短い
 - 「規制が弱い」＝経済活動低下が小さい・感染がゆっくりと減少・宣言期間が長い
- (ちょっと複雑になるけれど)「解除基準人数」も分析
 - ...「規制の強さ」と「解除基準」を同時に考えることで見えることもある

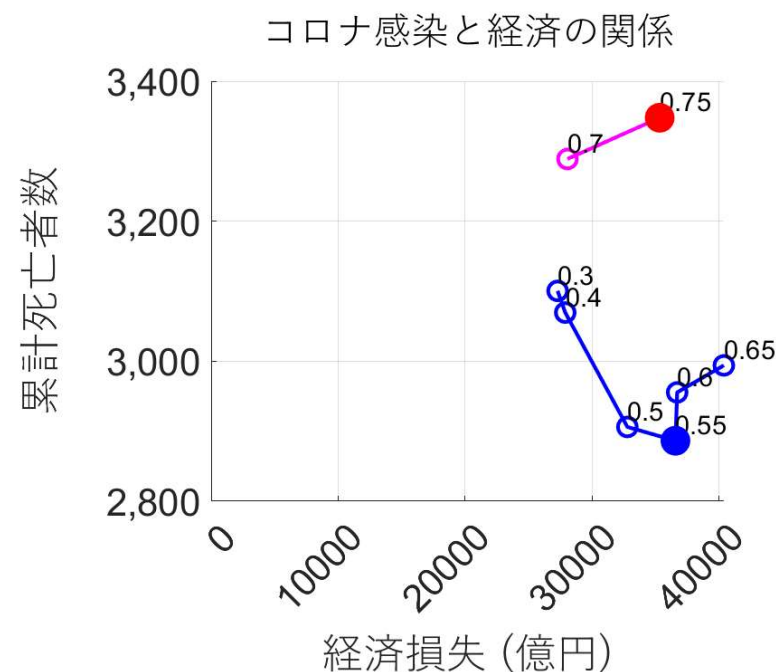
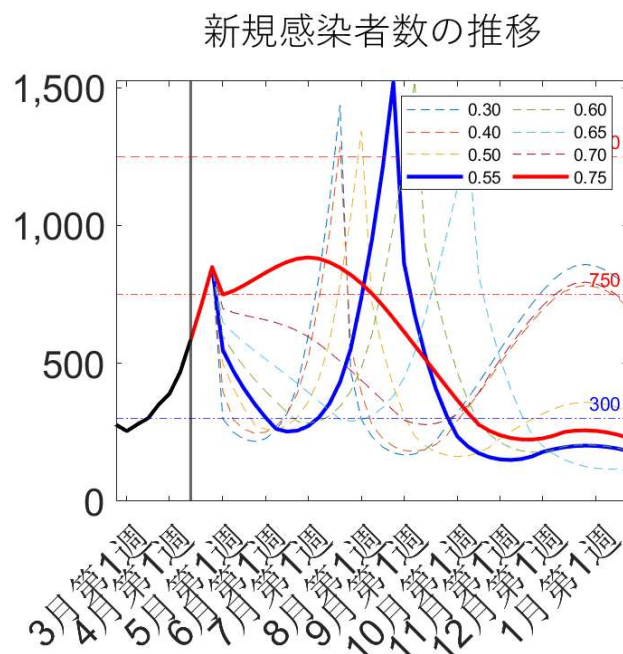
分析結果

- 定性的には前回の分析結果と同じ
- 「強い規制を短期間」が望ましい
 - 死亡者数:「強い規制を短期間」<「緩い規制を長期間」
 - 経済損失:「強い規制を短期間」?「緩い規制を長期間」
 - 大きくなるかもしれない(>)、小さくなるかもしれない(<)
 - 「強い規制を短期間」だと再度宣言発令になるがそれを考慮しても「？」



詳細：東京

変異株感染力1.5倍：解除基準300人

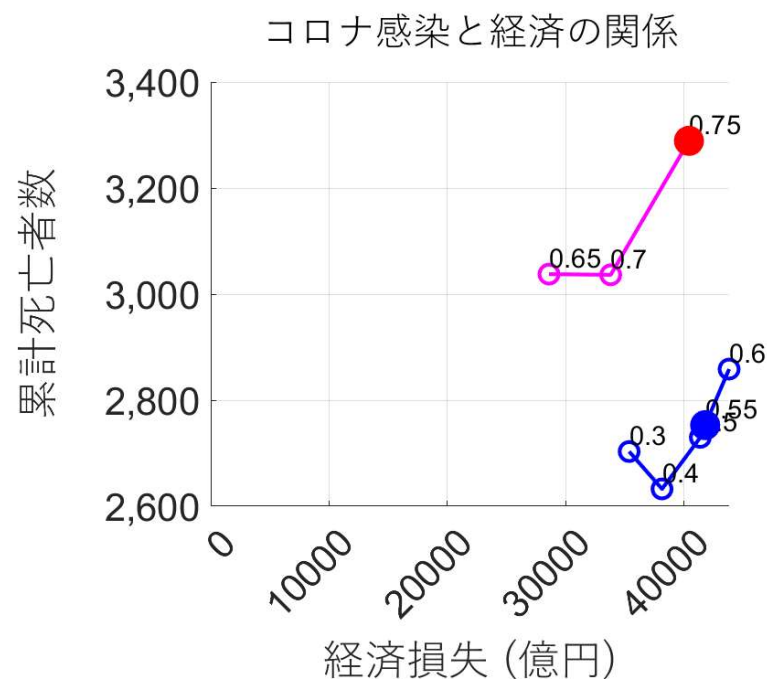
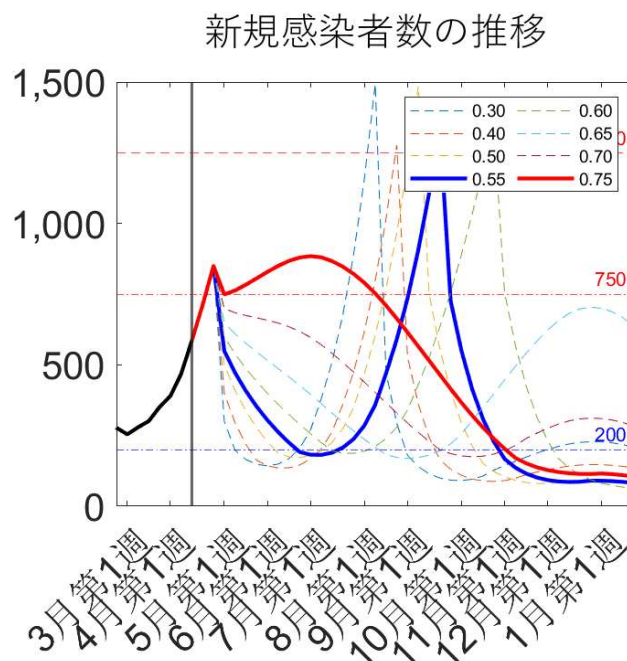


注：数字Xは宣言中の経済活動レベルを表す

青：強い規制＜昨年5月の経済活動レベル＞

赤：緩い規制＜昨年5月の経済活動レベルと今年1月の経済活動レベルの平均＞

変異株感染力1.5倍：解除基準200人

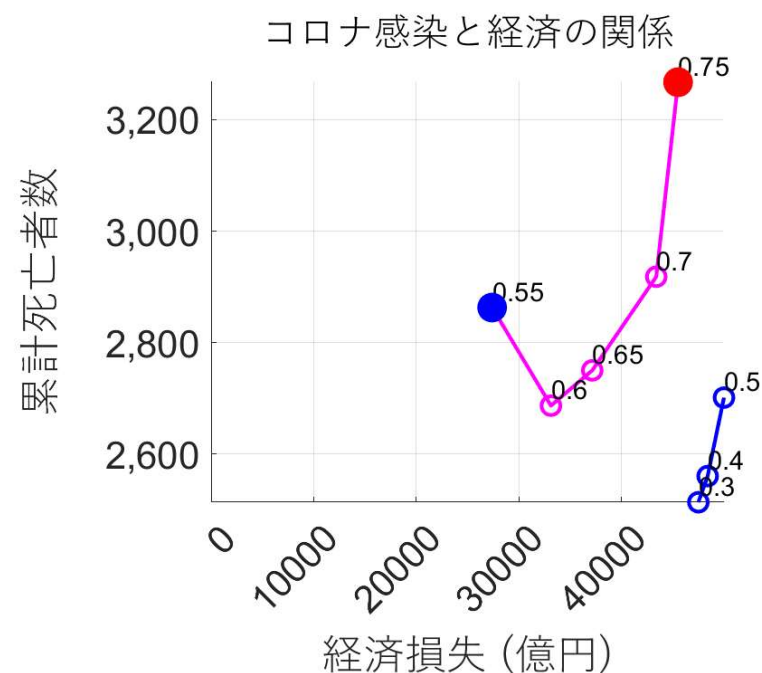
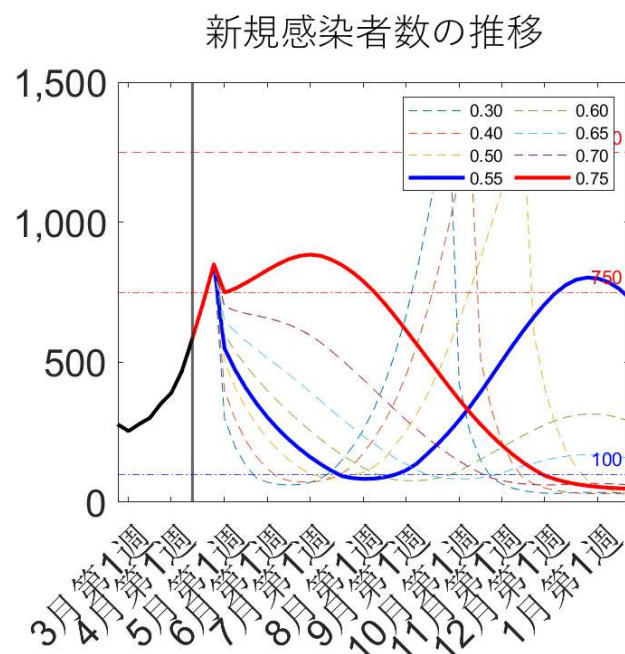


注：数字Xは宣言中の経済活動レベルを表す

青：強い規制＜昨年5月の経済活動レベル＞

赤：緩い規制＜昨年5月の経済活動レベルと今年1月の経済活動レベルの平均＞

変異株感染力1.5倍：解除基準100人

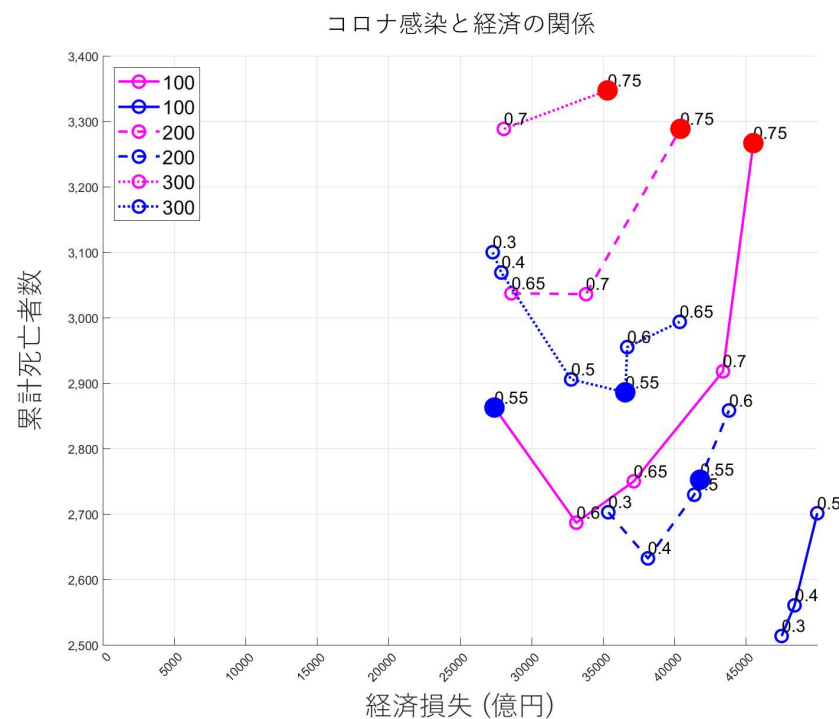


注：数字Xは宣言中の経済活動レベルを表す

青：強い規制＜昨年5月の経済活動レベル＞

赤：緩い規制＜昨年5月の経済活動レベルと今年1月の経済活動レベルの平均＞

変異株感染力1.5倍：三つまとめて



注：数字Xは宣言中の経済活動レベルを表す

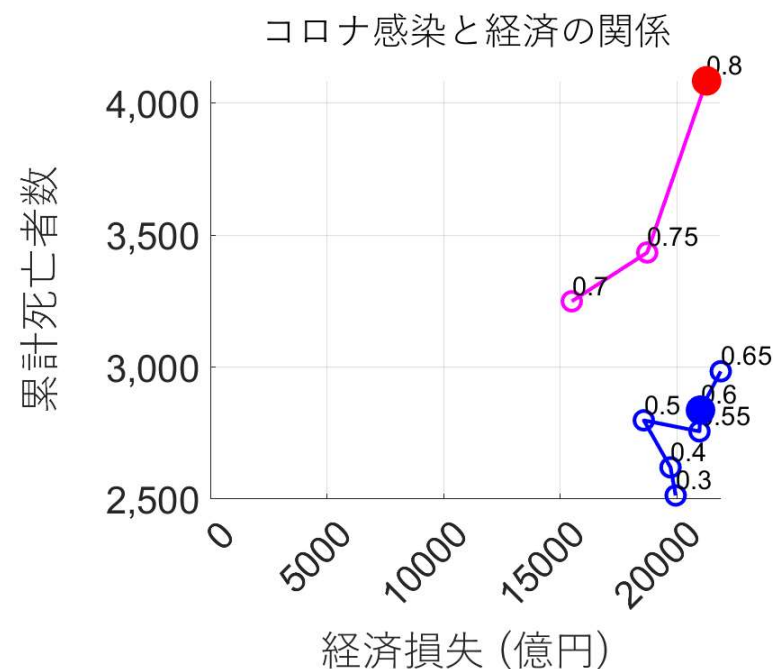
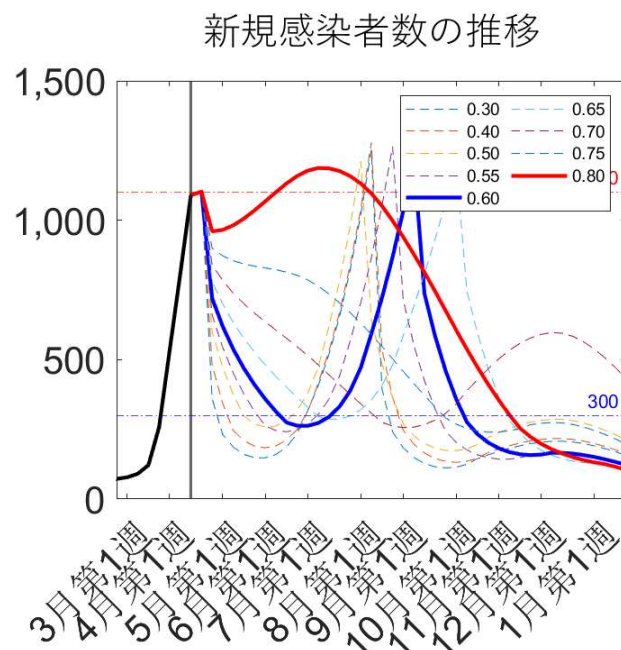
青：強い規制＜昨年5月の経済活動レベル＞

赤：緩い規制＜昨年5月の経済活動レベルと今年1月の経済活動レベルの平均＞



詳細：大阪

変異株感染力1.5倍：解除基準300人

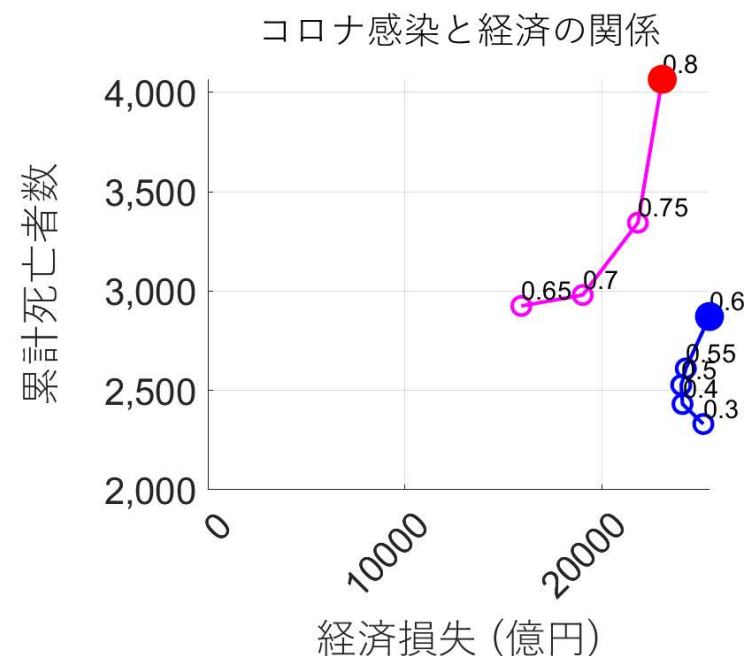
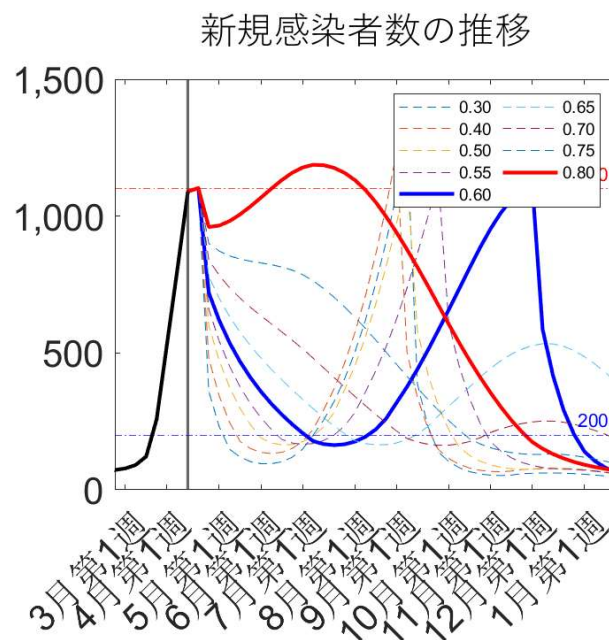


注：数字Xは宣言中の経済活動レベルを表す

青：強い規制＜昨年5月の経済活動レベル低下の1.7倍の低下＞

赤：緩い規制＜昨年5月の経済活動レベル＞

変異株感染力1.5倍：解除基準200人



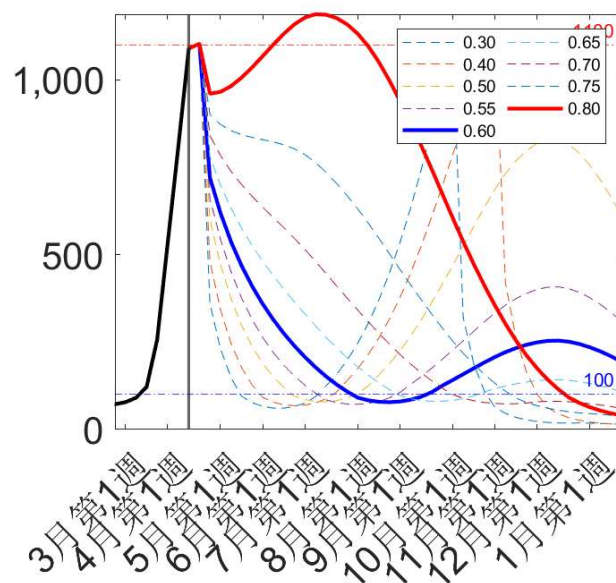
注：数字Xは宣言中の経済活動レベルを表す

青：強い規制＜昨年5月の経済活動レベル低下の1.7倍の低下＞

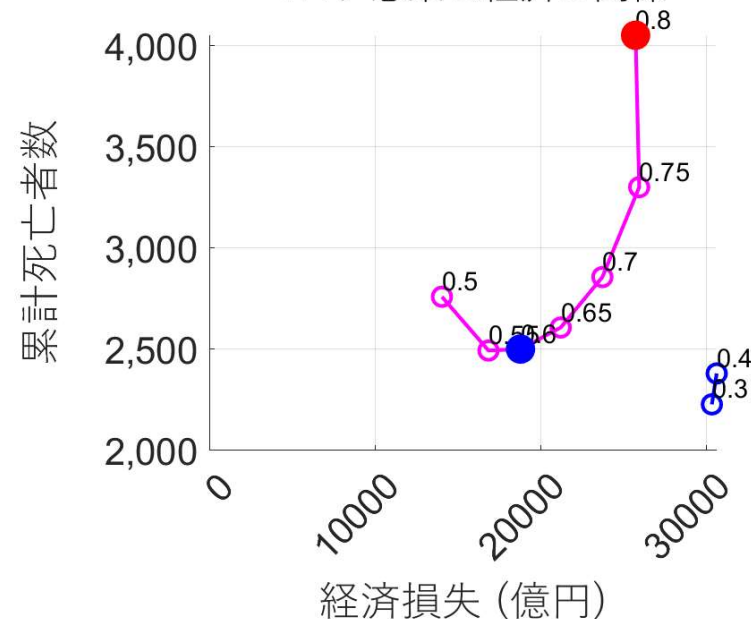
赤：緩い規制＜昨年5月の経済活動レベル＞

変異株感染力1.5倍：解除基準100人

新規感染者数の推移



コロナ感染と経済の関係

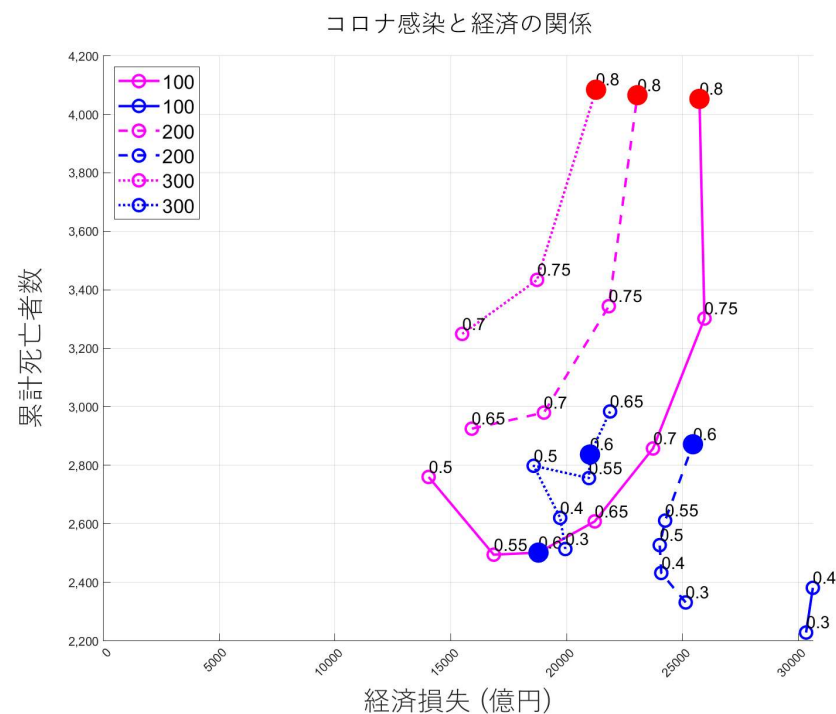


注: 数字Xは宣言中の経済活動レベルを表す

青: 強い規制<昨年5月の経済活動レベル低下の1.7倍の低下>

赤: 緩い規制<昨年5月の経済活動レベル>

変異株感染力1.5倍：三つまとめて



注：数字Xは宣言中の経済活動レベルを表す

青：強い規制＜昨年5月の経済活動レベル低下の1.7倍の低下＞

赤：緩い規制＜昨年5月の経済活動レベル＞

- 毎週火曜日分析を更新

<https://Covid19OutputJapan.github.io/JP/>

- 質問・分析のリクエスト等
 - dfujii@e.u-tokyo.ac.jp
 - taisuke.nakata@e.u-tokyo.ac.jp